

第7次福島県総合教育計画

郡山市の学校教育推進構想

《学びの変革の推進に向けて》

- 復興・創生、個人と社会の Well-being の実現に向けて「急激な社会の変化の中でも、自分の人生を切り拓くたくましさを持ち、多様な個性をいかし、対話と協働を通して、社会や地域を創造することができる人」を育てる。
- 全ての子どもに必要な資質・能力を確実に育成することを目指し、一方通行の画一的な授業から、個別最適化された学び、協働的な学び、探究的な学びへと変革する。（「学びの変革」）
- 子どもたち1人1人に必要な力を確実に育成していく学校に変革する。

《目指す郡山の子ども像》

- 高い志を持って自立し、他と協働して未来を拓く子ども
- 《基本理念》
- ともに学び、ともに育み、未来を拓く教育の創造
- 《基本目標》
- 個性を伸ばし生きる力を育む学校教育の推進
- 家庭や地域と一体になった豊かな教育環境の形成
- 未来へつなぐ教育機関の充実
- 《学校教育5つの柱》

教育目標・目指す児童像

豊かな心と健やかな体を持ち、ともに学ぶ子どもの育成

思いやりのある子
(徳)豊かな心

よく考える子
(知)確かな学力

たくましい子
(体)健やかな体

重点目標

3つの「あ」ができ、思いやりのある子どもを育てる。

考えを伝え合い、互いに学び合う子どもを育てる

すすんで健やかな体を作る子どもを育てる

重点事項・実践内容

- 1 のぞましい人間関係づくりの推進
- 道徳科、特別活動、読書活動の充実を図り、互いを認め合う温かな学級づくりをする。
 - 豊かな体験活動や異学年交流活動を通して互いを尊重する心を育てる。
- 2 基本的生活習慣の形成
- 3つの「あ」（あいさつ・あんしん・あきらめない）を推進する。
 - 3つの「あ」と「よい子の一日」を意識させながら、自ら正しく判断して行動できる力を育てる。

- 1 基礎・基本の定着と個に応じた指導の充実
- 学習内容の定着化と活用育成、個に応じた指導を進め、「わかる授業」を展開する。
 - 自分の考えを伝え合えるよう、ICT活用を含めた言語活動の充実を図る。
- 2 課題を見つけ、問題を解決する能力の育成
- 主体的・対話的で深い学びへの授業改善を進める。
 - 探究的な学び、個別最適な学び、協働的な学びの充実を図る。

- 1 健やかな体と最後までやり抜くたくましい心の育成
- 主運動と合わせて運動身体プログラムを行い十分な運動時間を確保する。
 - 各種記録会に合わせた運動、日常的な遊びを奨励する。
- 2 健康の維持、安全意識の高揚
- 健康のための習慣（手洗い・うがいの励行、新しい生活様式、食育指導）づくりをする。
 - 安全意識と危険予知・危険回避能力を高める。

共同研究 研究主題

かかわり つながり 高め合う子どもの育成
～ 主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業の工夫～

目指す学校像・学校経営の重点目標・重点事項・実践内容

○一人一人が輝く学校(学力・安全) ○力を合わせてみんなが輝く学校(協働・未来) ○地域に根ざした学校(交流)
地域に開かれ、信頼される学校づくりを推進する

1 家庭・地域との連携

- 学校の情報についてHPなどを活用し、家庭・地域に積極的に発信する。
- 地域を生かした地域学校協働活動推進事業の推進を図る。

2 信頼される学校づくり

- 教職員の資質・能力の向上と不祥事防止を徹底する。
- 校務分掌の連携を図り、チーム力を生かした校務運営を推進する。

3 学習環境の整備・充実

- 校地内外、学区内の安全な環境作りを行い、けがや事故を予防する。
- 学校図書館を充実させ、本好きな児童を育成する。